

# 令和3年度学習グループサポート事業登録グループ募集（事前調査）について

## 1 目的

市民の自主的な学習活動をサポートすることにより、共同学習・相互学習を推進するとともに、学習の成果を地域社会に還元します。

## 2 事前調査

令和3年度登録希望グループにおける学習テーマ、内容などを明らかにし、令和3年度の予算編成のための事前調査を行います。

※令和3年度予算の確定は市全体での調整となるため、事前調査により希望したサポート（謝礼等）が受けられない場合があります。

- (1) 調査期間：令和2年8月20日（木）～9月30日（水）
- (2) 調査方法：市報8月20日号及び市ホームページに掲載し、登録を希望するグループから以下の書類の提出を求めます。

## 3 提出書類

令和3年度にサポートを希望するグループは、下記の書類を調査期間内に社会教育課に提出してください。

- (1) 令和3年度学習グループサポート事前調査書（様式1）
- (2) 保育対象者一覧（様式4）※学習会に保育を希望する場合のみ（公開講座のみの保育は不要）
- (3) 令和3年度学習グループサポート年間学習予定表（様式5）
- (4) グループのこれまでの活動実績等がわかるもの

（活動記録・会員募集案内・公開講座の開催案内など。ホームページの写しでも可）

※新規に登録を希望するグループは、(1)～(4)の全ての書類を提出してください。

※令和2年度登録グループは、(1)と(3)のみ提出してください。

## 4 対象グループ条件

市内で継続的に学習し、下記の条件を満たしているグループとします。ただし、政治・宗教活動、及び営利を目的とするものは除きます。また、市から重複して同種の補助金、交付金を受けることはできないものとします。

- (1) グループ構成  
市内に在住、在勤又は在学している者が5人以上いる学習グループであること。
- (2) 学習テーマ  
社会教育（青少年・視聴覚・障害者・人権等）や家庭教育に関するもの。

\* 《保育について》

保育付きグループの申請にあたっては、本申請を行う4月に、保育が必要な1歳6カ月から学齢前までの乳幼児（保護者が市内に在住、在勤又は在学している）が3人以上いることを条件とします。

裏面につづく

## 5 公開講座

学習の成果を地域社会に還元するため、年1回以上公開講座または公開学習会を実施（市報掲載必須）していただきます。

## 6 サポート期間

令和3年5月1日から令和4年3月31日まで

## 7 サポートの内容

サポートは、令和3年4月に行う本申請時に提出する学習計画に基づいて次のとおり行いません。ただし、謝礼の助成については、本申請後に審査したうえでお送りする決定通知書の金額及び人数を上限とします。なお、申請するグループ数により、助成額等を調整する場合があります。

### (1) 講師・手話通訳者謝礼のサポート

講師・手話通訳者を招いて公開講座を実施する場合、その謝礼をサポートします。講師謝礼は、予算の範囲内でサポートするものとし、公開講座1回につき24,000円を上限とします。また、1団体あたり年間48,000円を上限とします。

### (2) 保育者謝礼のサポート

保育のサポートを承認されたグループについて、学習会（月1回に限る）及び公開講座の際の保育者謝礼をサポートします。保育者1人に対しての謝礼額は1時間あたり1,130円（有資格者・令和2年7月現在）とし、下記配置基準に基づき予算の範囲内でサポートします。ただし、乳幼児の状況により配置基準によることが困難である場合には、社会教育課と協議することとします。

#### 《保育者配置基準》

乳幼児数	保育者数
1人～6人	2人
7人～	3人

### (3) 広報

広く市民を対象とした公開の講座または学習会を実施する場合は、市報・市ホームページ・社会教育情報紙「コラボ」等への掲載やチラシの印刷、配布など広報についてサポートします。

## 8 学習結果のまとめ

サポート期間終了後、学習結果について自己評価をしたうえでレポートにまとめ、令和4年4月30日までに提出してください。全グループからの学習報告を冊子にして配付します。